

◆手話言語に関する条例検討会設置◆

県議会に手話言語に関する条例検討会が設置され、昨年11月11日に第一回検討会が開かれ私が座長を務めることとなりました。この検討会はすべての会派から13名の委員で構成され、手話言語に関する条例を議定条例として制定するため議論を行います。この条例は私自身思い入れが強く、会派新政みえの政策局長として、平成23年、27年の県議会議員選挙で会派のビジョンとして掲げてきたもので、ようやく条例制定に向かうことが出来ます。関係者や専門家の話をしっかりと聞かせていただき、先進事例を調査して三重県ならではの条例に仕上げたいと思います。

平成27年4月1日現在、本県の身体障害者手帳の交付を受けている人数は73,776人で、その内聴覚・平衡機能障がいの方は7,405人となっています。県民が子どもの頃から手話に触れることができる環境をつくり、ろう者とろう者以外の者がお互いを理解し、共生するまちづくりの展開を目指し条例を制定したいと思います。



平成27年12月16日
第3回手話言語に関する条例検討会

◆伊勢志摩サミットに向けての取組◆



平成27年9月2日
伊勢志摩サミット警備対策調査

本年5月26日、27日本県で伊勢志摩サミット開催が決まり、また4月22日から一週間程度桑名市を中心に北勢地域でジュニアサミットが開催されることが決まりました。今議会では、伊勢志摩サミットの全体像が示され、また来年度予算の要求状況やポストサミットの取組の方向性が示されました。予算的には27年度は、66億8,891万円となり、この内4億1,915万円は国負担ですが、それ以外は県費や県債で手当てしています。また28年度は26億11万円が要求されています。サミット開催に向けて合計92億8,902万円となり県の負担がかなり大きいため国に対して財政措置を強く求めているところです。

一方、百五経済研究所の試算では、サミットの経済効果は5年間で1,110億円との数字が示されておりサミットが一過性のものとならず三重県にとって大きな飛躍のチャンスになるよう取組む必要があります。具体的には、来年度の予算で開催支援はもちろんのこと、クリーンアップ活動や花いっぱいおもてなし運動、サミットフォーラムの開催や三重県を発信するため、三重県情報館（仮称）の設置・運営、海外プレスツアー、ポスター・HP・SNSによるPRなどの取組を行います。ジュニアサミット参加者との交流事業や配偶者プログラム、県産食材等の利用促進の取組なども行います。

ポストサミットとして、今年度中にMICE（国際会議、研修等）誘致戦略を策定し、サミット開催のノウハウを活かし様々な国際会議等の誘致をはかります。また海外誘客のインバウンドの取組を強化し、サミットの聖地として次世代に継承していく取組を行います。海外ではテロが相次ぎ不安定な国際情勢の中、安全に開催できるよう開催地として万全の体制を整えていきたいと思います。

いながき昭義プロフィール

昭和47年 四日市市東坂部町生まれ（現在43歳）大池中学校・四日市高校・立教大学法学部卒業
平成7年～10年 株式会社三重銀行勤務
平成11年 三重県議会議員選挙出馬（26歳）12,431票で次点（416票差）
その後、学習塾・パソコン教室・NPO法人三重県フリーマーケット協会などを立ち上げ4年間生活。
平成15年 三重県議会議員選挙 初当選以来4期連続当選。
 四日市港管理組合議会第45代議長（歴代最年少）、県議会予算決算常任委員長（歴代最年少）等を歴任
 ※詳細はホームページを参照下さい。



【個人献金のお願ひ】 いながき昭義の政治活動は皆様からの個人献金にお支えいただいております。勝手なお願いで恐縮ですが皆様からのご支援賜りますようお願い申し上げます。

◆三重銀行 本店 普通預金 口座番号1804244 名義 いながき昭義政経情報交換会
 ◆百五銀行 生桑支店 普通預金 口座番号397102 名義 いながき昭義政経情報交換会

発行：いながき昭義事務所 電話059-330-4088 FAX059-330-4089 〒512-0904 四日市市東坂部町75-1

<http://www.dream-21.jp>

三重県議会議員

あきよし

いながき昭義

後援会
報

Contents もくじ

- ごあいさつ
- 県政座談会のご案内
- 四日市の工業高校に専攻科設置へ!!
- 四日市の産業の新たな柱に航空宇宙産業を!!
- 手話言語に関する条例検討会設置
- 伊勢志摩サミットに向けての取組
- プロフィール
- 個人献金のお願ひ



あすなろ鉄道試乗

新しい年を迎え心からお慶び申し上げます。

12月議会で一般質問をするにあたり、知事肝いりで設置された三重県経営戦略会議の分厚い議事録をすべて読みました。これまで5年間で約20回開催されていますが、かなり濃い内容で様々な提案の宝庫でした。非常に勉強になり今後の地方自治体のあり方や、魅力をあらためて実感し、私たち政治家が今何をしなければいけないかを考えさせられました。この一年私はその答えを求めて全力を尽くします。

11月には三重県手話言語に関する条例検討会が設置され、私が座長に選任されました。この条例は私がずっと制定を願ってきた条例であり、これまでたくさんの議員提案条例に関わってきた経験を活かして関係者の思いにこたえられるよう心を込めて条例づくりを行って参ります。

本年も使命感を持って突っ走ります。変わらぬご指導、ご支援賜りますよう心からお願い申し上げます。

三重県議会議員 稲垣 昭義

【県政座談会のご案内】

定期的開催しております座談会を下記日程で行います。ぜひお誘い合わせでお越しください。どなたでも気軽にご参加いただける報告会です。よろしく申し上げます。

2月14日（日）18：30～ 県地区市民センター
 2月14日（日）19：30～ 羽津地区市民センター
 2月28日（日）18：30～ 海蔵地区市民センター
 2月28日（日）19：30～ 三重地区市民センター

◆ホームページ <http://www.dream-21.jp>

稲垣昭義 ブログ 検索

◆ブログ「初心、継続。」 <http://ameblo.jp/dream-21>

■フェイスブックページでは、日々情報発信していますので、ぜひ皆さんでご覧ください。
 ■私のYou Tubeチャンネルでは月に1～2本の動画配信を行っています。
 私のHPからご覧いただけますが、ぜひチャンネル登録をお願いします。

Vol.45

◆四日市の工業高校に専攻科設置へ！！

■稲垣昭義議員：

知事は、四日市において工業高校の専攻科（※１）の導入方針を示されました。先日、教育長との議論では、設備投資などでどの程度の予算が必要かを調査し、また、どの分野の専攻科を設置するかを企業等とも相談しながら平成30年ごろには設置したいと言われておりましたが、知事の工業高校専攻科についての考えをお聞かせください。

また、三重県経営戦略会議では、農業高校への発酵の専攻科導入や、世界最高峰の料理の専門大学であるＣＩＡとの留学・進学制度の構築などの提案もありました。第１次産業を学ぶ場所を再構築すべきとの意見も出されていましたが、農業高校や水産高校など専門高校の今後の展開についても考えをお示しください。

次に、三重大学と県との取組は、経営戦略会議での様々な提案も含めて前に進められているものが見受けられますが、県内の私立大学の今後のあり方について、知事の考えを聞かせてください。

■鈴木英敬知事：

県教育委員会では、工業学科にも新たに専攻科の設置を行うため、企業関係者や有識者で組織する専攻科設置検討委員会を立ち上げました。工業学科の専攻科の設置は、生徒の高度な知識、技能等の習得に加え、若者の県外流出の抑制や学びの選択肢の拡大につながります。三重県独自の特徴を持った専攻科を設置すれば、本県産業の強みであるものづくり産業の一層の強化につながり、専攻科卒業生が地域の企業に安定的に就職するようになれば、地域産業の活性化も期待できます。地域の企業に愛されて、あの専攻科があってよかったと言ってもらえる専攻科を設置します。

一方、本県の専門学科は、測量士国家試験、第三種電気主任技術者試験ともに、本年度も高校生合格者数日本一、全国ものづくりコンテスト自動車整備部門第１位、ロボット相撲世界大会出場、ワールド・オブ・フレーバーやミラノ国際博覧会への出展など、全国的、国際的な成果を残しています。先進的な取組やこれまでの取組がより進化するよう、グローバル三重教育プランによる専門高校生の英語力の向上、食物調理に関する相可高校とサンフランシスコ、ナパバレーの料理大学ＣＩＡとの連携、会計分野に関する四日市商業高校と朝日大学との連携、環境分野に関する久居農林高校と名古屋産業大学との連携など更に力を入れていきます。

また、私立大学など高等教育機関ですが、本県では、県内の高校を卒業した大学進学者の約８割が県外の大学に進学しており、人口の社会減につながっています。若者の県内定着や地域人材の育成など地方創生の観点から、県内の私立大学等が果たす役割は大きく、大学等の魅力向上・充実のための取組に対し今年度から補助制度を設けており、既にこの制度を活用して地域のニーズに応じた取組がスタートしています。また、県内全ての高等教育機関が参画して相互連携により共同事業などを行う「高等教育コンソーシアムみえ」の創設に向けた取組を進めています。

今後も地方創生の観点から、私立大学をはじめとする県内高等機関の魅力向上・充実に向けて積極的に支援していきます。

（※１）解説：専攻科とは高校卒業後２年間程度、専門的に学ぶことが出来る学科で、平成28年４月１日から学校教育法が改正をされ、専攻科を修了すると大学への編入が可能となる。

【12月２日稲垣昭義一般質問その他の質問項目】

■海外からの大学誘致の取組について

■給付型奨学金制度導入の提案

■ポストサミットに向けて医療ツーリズムの取組提案

■幸福実感と新しい豊かさの挑戦的な指標導入の提案

■統合医療や予防医学の取組推進について

◆四日市の産業の新たな柱に航空宇宙産業を！！ （玉井兄弟の夢を継承する）

■稲垣昭義議員：

11月11日、待ちに待った国産旅客機MR Jが50年ぶりに初飛行に成功しました。本県では三菱重工松阪工場にてこのMR Jの尾翼の組み立てと部品の製造が行われるため、新たな産業として大きな期待が高まっています。航空宇宙産業という言葉は、私はロマンを感じますが、今から100年前に日本で最初に飛行機を飛ばした玉井兄弟（※２）が四日市市出身であったということは更なる魅力をかき立てます。今後の航空宇宙産業の取組地区として、三菱重工松阪工場を核とした松阪地区はもちろんですが、技術力の高いものづくり企業が多く立地する四日市において、また、玉井兄弟の生まれた四日市にて飛行機の部品をつくることは非常に夢がある取組だと思います。

現状は、「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」に残念ながら四日市市は入っておらず、また、「みえ・航空宇宙産業推進協会」に四日市のものづくり企業の参加が少ないように感じます。県と四日市市が一体となって取り組むことを期待しますが、知事のご所見をお聞かせください。

■鈴木英敬知事：

航空機は300万点を超える部品で構成され、機体やエンジンの製造だけでなく、装備品や保守なども含めると極めて裾野が広く、多くの企業にビジネスチャンスがあります。本県は、航空宇宙産業を、自動車産業、電子・電機産業、石油化学産業に続く産業の柱とすべく、今年３月、「みえ航空宇宙産業振興ビジョン」を策定しました。今後５年間で30社の新規参入もしくは事業拡大を目標とし、今年度から、人材育成、参入促進、事業環境整備に産学官金で取り組んでいます。

四日市地域の企業の状況ですが、人材育成事業として、今月から高度部材イノベーションセンター（AMIC）にて、異業種からの新規参入をテーマとして、中日本航空専門学校と協働して生産技術者育成講座を開催し、四日市の複数の企業からも応募をいただいています。また、２月のアメリカへの経済ミッションにも四日市の企業が参加する予定です。

四日市には、航空宇宙産業と親和性の高い自動車などのものづくり産業が集積しており、航空宇宙産業が求める製造コスト低減や部品軽量化の取組で実績を持つ企業が多数存在します。MR Jは、翼や胴体は国内で生産されるものの、エンジンや飛行制御システム、電源システムなどの重要な装備品は海外企業に頼るなど、現在３割にとどまる国産比率の上昇が課題と言われています。この課題に対応するには、長期的な視点に立ち、装備品等を担える企業を育てていく必要があります。自動車部品において幅広い素材に対応できる強みを持つ四日市の企業群には大きな可能性があり、県と市が連携して、１社でも多くの企業が航空宇宙産業へ参入できるよう支援していきたいと考えています。

（※２）解説：日本で最初に飛行機を飛ばした人をご存知ですか？

大正５年10月５日、初めて日本の空を飛行機が飛びました。この飛行機は「玉井式２号機」と呼ばれ、玉井清太郎氏によってつくられました。

この玉井清太郎氏は、弟の玉井藤一郎氏と共に日本のライト兄弟と呼ばれ、四日市市浜田の出身です。兄の玉井清太郎氏は残念ながら、その翌年に「玉井式３号機」で飛行中に墜落、炎上し、24歳の若さで亡くなりましたが、その遺志を継ぎ、弟の玉井藤一郎氏によって大正８年に「栗津式青鳥号」がつくられ、三重郡河原田村から四日市港の沖合、三重村坂部、河原田村、四日市市街、四日市港の築港地区のコースを２巡して、約25分後に無事着陸したといわれています。

この「栗津式青鳥号」は現在、四日市市立博物館に８分の１の模型が収蔵されており、模型ですが実際に飛ぶ構造になっています。

稲垣昭義
活動ショット！



平成27年7月16日
新政みえ東京研修
最高裁判所大法廷



平成27年8月6日
全国青年都道府県議の会
総会



平成27年8月4日
教育警察常任委員会
白山高校調査



平成27年8月8日
議員野球大会in静岡



平成27年8月28日
未来創造セミナー開催



平成27年10月5日
オレンジ会BBQ開催



平成27年11月8日
第9回さんまパーティー開催



平成27年12月8日
新政みえ来年度知事要望